

--	--	--	--

## ■ 私学経営見学会

## 特色ある私学経営につき現地見学会

日  
時  
見学先

【西日本地区】追手門学院大学 定員30名

2022年7月27日(水) 12時45分

茨木総持寺キャンパス 大学棟1階 WILホール集合

16時頃現地にて解散予定

所在地 大阪府茨木市太田東芝町1-1 (TEL. 072-697-8150)

〔JR京都線「JR総持寺」駅下車、徒歩10分〕

●1法人につき2名様までとさせていただきます。

## 本セミナーの概要

厳しい経営環境にめげず幾多の私学が一貫した長期ビジョンをもって学園の独自性を発揮し、学園の立地環境に適応した創意工夫を積重ねつつ発展を続けておられます。

その経営の実情について現地大学を訪問し、理事者のご方針をお伺いしつつ、現場における貴重な実践の姿を見学させていただきます。

一般講習会では吸収できない生きた私学経営の姿に触れることのできる貴重な機会ですので、私学理事者・管理者の皆様の多数ご参加をお待ち申し上げます。

## 申込要領

- 申込方法 本会ホームページ (<https://sikeiken.or.jp/>) の「セミナー申込フォーム」からお申込みいただくか、Eメールに必要事項(参加日、学園名、住所、参加者の役職、氏名)をご記入のうえ、お申込み下さい。  
※申込書に記載された学園名、ご住所、役職名、ご氏名等の個人情報は、参加証・請求書・領収書等の発送のために使用します。
- 申込〆切日 30名の定員に達した時点で受付を終了させていただきます。お早めにお申し込みください。  
なお、諸準備の都合上、お申し込みは見学日の1週間前で〆切らせていただきます。  
また、参加申込後のご変更は至急お電話でお知らせ下さい。
- 参加料 会員：1名無料 追加参加料5,500円(消費税込) 非会員：19,800円/名(消費税込)  
なお、参加料は、請求書をご確認の上、銀行振込でセミナー開催日前までにお納め下さい。
- お問い合わせ先 公益社団法人 私学経営研究会 事務局  
〒532-0011 大阪市淀川区西中島6丁目11番25号 第10新大阪ビル701号  
TEL. 06(6795)9969 / FAX. 06(6795)9930  
E-mail: [skkseminar@sikeiken.or.jp](mailto:skkseminar@sikeiken.or.jp)

## 見学プログラム

7月27日(水) 追手門学院大学

(学校法人追手門学院 理事長 川原 俊明先生)

12時45分集合 茨木総持寺キャンパス大学棟1階 WILHALL

学園ご関係者挨拶、大学の概要及び方針のご説明、  
質疑応答の後、施設見学。 16時頃現地にて解散予定。

## 学園のご紹介

### 学校法人 追手門学院

学校法人追手門学院の淵源は、1888(明治11)年に豊臣時代の大阪城内にあたる区域に設立された大阪偕行社付属小学校(今の追手門学院小学校)にさかのぼります。創設者は薩摩出身で後に明治政府の閣僚も務めた高島軻之助です。西郷隆盛を敬愛し、薩摩独特の郷中(ごじゅう)教育の考えを実践しました。

そうした高島の思いを受け継ぐ追手門学院は、関西の私立学校の中では比較的早くから総合学園化を進めました。1969(昭和44)年には幼稚園から大学・大学院までの一貫教育体制を整え、2013(平成25)年には幼稚園に保育課程を併設して幼保連携型認定こども園とし、現在は「独立自強・社会有為」の教育理念の下、0歳児から大学院生まで約1万人が集う総合学園です。

追手門学院大学は大阪府茨木市にあり、文・国際・心理・社会・経済・経営・地域創造の7学部と大学院3研究科合わせて約8,300人の社会科学系総合大学です。2021(令和3)年4月に心理学部心理学科に人工知能・認知科学専攻を開設し理工系分野に進出しました。迅速な意思決定を可能にしたガバナンス改革により、入試改革および教学改革を進めたことで、2022年度入試までの総志願者数は10年連続増を達成しました。

2018(平成30)年の追手門学院創立130周年を機に、「行動して学び、学びながら行動する」を表したWIL(Work-Is-Learning)という独自の新教育コンセプトを発表しました。このWILを現代版の郷中教育ともいえる「学びあい、教えあい」を通じて実現するため、JR総持寺駅徒歩圏内に新キャンパスを2019(平成31)年4月に開設し、全学部1年次生に加え、地域創造学部と国際教養学部(現在の文学部、国際学部)が移転し、また、追手門学院中・高等学校は全面移転しました。大学棟・アカデミックアーク、中学高校棟・スマートパレットともに中心部に設けた図書スペースを囲むように教室を配置し、電子図書システム、BYOD(ノートPC等を1人1台携帯する取り組み)を導入して「学びあい、教えあい」を促進する環境を整えています。他に類を見ない外観は、常に改革に取り組む追手門学院の姿を象徴したものです。

こうしたハード整備と教学改革はコロナ禍にあっても学生・生徒の学びの継続を支え、大学の授業を行うとともに、多様な学びの形態を提供することができました。この実績をベースにポストコロナを見すえ、最適な手法で学生の学びの最大化を目指すMATCH(MAXimized-TeaCHing)による「教育DX」の取り組みも、文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に関西の中規模私立大学で唯一採択されるなど、高い評価を得ています。

2023(令和5)年4月には法学部(仮称・設置構想中)を設置し、法的な知識はもちろん幅広い視野と発想力を鍛え、自ら問題を発見し解決する力を養うことで、行政機関や企業の第一線で新しい時代の変化にも対応できる人材を育てます。

また、茨木総持寺キャンパスに新校舎を建設し、既存の学部・大学院および本部機能を集約。2025年4月からメインキャンパス化を行い、将来的には理系学部の開設構想などと合わせて学部学生1万2千人規模の実現を図ります。

